

「豊かな心を持ち、健康な生活を実践する児童の育成」 ～育てよう！生きる力と噛む力～

兵庫県芦屋市立宮川小学校

研究目標

- ・児童の発達段階に応じた歯・口の健康教育を推進し、自ら進んで健康な生活ができる能力や態度を育てる。
- ・主体的に取り組む活動を通して、自律的に健康問題を解決し、行動できる児童の育成を図る。
- ・家庭や地域と連携を図りながら、健康への関心を高め、児童一人一人の生涯にわたる健康づくりの基礎を培う。

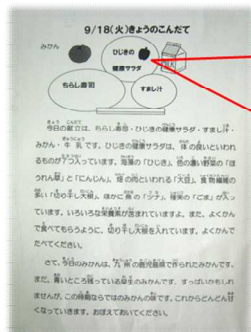
低・中・高学年の重点目標

- 低学年・・・歯みがきの基本を身につける。
- 中学年・・・しっかりと噛む習慣を身につける。
- 高学年・・・自分の食生活について考える力を養う。

具体的な取り組み内容例

○給食後の歯みがきタイムの実施

毎日給食後、各学年の手洗い場で歯をみがく。13:05から歯みがきタイムのBGM「みがこう！みやしょう！！」を流す。『はみがきノート』を使って歯みがき指導・チェックを行う。



○給食指導

栄養教諭や給食調理師の協力のもと、給食中、子どもたちがしっかりと噛んで食べることを意識してもらうために様々な取り組みがなされた。

《かむかむメニューの取り組み》

毎日の給食で特にしっかりと意識して噛んで食べようと「かむかむメニュー」を入れてもらい、子どもたちの

噛んで食べる意識をするようにした。また、給食室からの手紙にも「かむかむメニュー」についてのコメントやかむかむマークを入れてもらい、子どもたちの意識向上を図った。

○学校行事『歯ッピー集会（6月4日）』



- ・子どもたちが歯の大切さを知り、歯みがきの必要性に気付くように、教師による劇「白い歯戦士 みがKinG」の発表と学校歯科医による指導を行う。

○児童会の取り組み

《ペア給食でのペア歯みがき》

- ・学期に1度、低学年と高学年で構成するペアで一緒に給食を食べた後に、歯みがきを行う。互いにチェックし合い、児童会で準備したシールをはり合うようにした。

